

茶畑から野菜畑への転換（寺尾園）

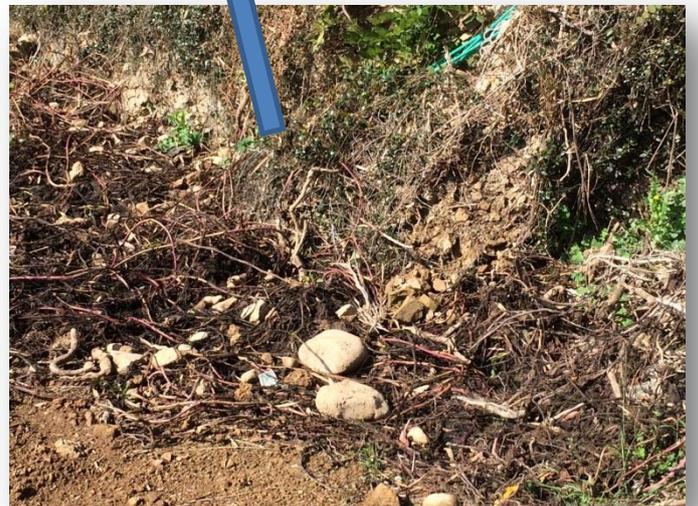
スーパーERで手軽に茶畑から野菜畑に転換

2014年の秋冬番茶まで収穫した5畝の茶畑の茶樹を11月に伐採して太い根を抜いて転地返しをする。その後、スーパーERの1000倍液を500ℓ、スーパーERの米ヌカぼかし（8俵）、苦土石灰、動物性堆肥（5俵）を入れて耕し、平らにする。翌年の2015年5月にサツマイモを植えるようにおこし、ERの1000倍液にドブ漬けたサツマイモのツルを植える。その後、スーパーERの1000倍液を2回灌水し、150リットル11月に見事なサツマイモを収穫する。

通常、転換した畑でしっかり収穫できるまでに3年程度かかると言われているが、スーパーERとぼかしを使うことで、約1年で収穫することが出来た。土は柔らかく、野菜を栽培するのに適した土壌になっている。1年後の2015年11月には玉ねぎを作付けしている。



転換してサツマイモを栽培している様子を見てきた近所の人々が「茶畑から変えたばかりで、直ぐにサツマイモなんか採れるわけ無いよ!」と言われたが、見事なサツマイモが取れたことに驚いていた。



茶畑から転換したばかりで、畑の隅にはまだ大きな石や茶の樹の枝が残っている状態だが、野菜畑はスーパーERの微生物の力で茶樹の根の分解が早い。